

# 熊本地域公共交通網形成計画の骨子(案) 体系図イメージ

## 第5章 基本的な方針

**第1章 はじめに**  
1. 計画策定の目的  
2. 計画策定の背景  
3. 計画の区域  
4. 計画の期間  
5. 計画の位置づけ  
6. 形成計画策定に係る留意事項

**第2章 地域の現状等**  
1. 地勢・地理  
2. 社会情勢・経済状況

**第3章 上位計画の整理**  
1. 総合計画  
2. 都市マスタープラン  
3. その他関連計画

**第4章 公共交通の現状等**  
1. 公共交通機関の現状と課題  
2. 公共交通利用者の推移等  
3. 公共交通利用者の意向等  
4. 公共交通網形成の視点

**1. 目指す都市の将来像**  
『公共交通を基軸とした多核連携都市くまもと(仮)』

**2. 公共交通が果たすべき役割**  
・日常生活に必要な移動を支えること  
・多核連携都市の実現に貢献すること  
・まちの賑わい創出・環境改善に貢献すること  
など

**3. 公共交通の課題**  
・利用者の減少  
・交通事業者の経営難  
・サービス水準の低下  
など

**4. 目指す公共交通の将来像**  
『誰もが安心して移動できる持続可能な公共交通(仮)』

## 地域公共交通の活性化及び再生の促進に関する基本方針より

**国が定める基本方針①**  
まちづくり、観光振興等の地域戦略との一体性の確保

**国が定める基本方針②**  
地域全体を見渡した総合的な公共交通網の形成

**国が定める基本方針③**  
地域特性に応じた多様な交通サービスの組合せ

**国が定める基本方針④**  
住民の協力を含む関係者の連携

**5. 公共交通の活性化及び再生に向けた取組みの方向性①(仮)**  
コンパクトシティプラスネットワークのまちづくり

**5. 公共交通の活性化及び再生に向けた取組みの方向性②(仮)**  
広域都市圏を見据えた公共交通ネットワークの形成

**5. 公共交通の活性化及び再生に向けた取組みの方向性③(仮)**  
地域全体で支え合う公共交通

## 第6章 計画の目標

**目標①まちづくりと連動した公共交通施策の展開(仮)**  
数値目標: 便利で住みやすいと感じる市民の割合(仮) など

**目標②都市圏全体を見渡した利便性の高い持続可能な公共交通網の形成(仮)**  
数値目標: 中心市街地に行くときに、公共交通機関を利用する市民の割合(仮) など

**目標③住民・事業者・行政等の適切な役割分担と協働による公共交通の維持・確保(仮)**  
数値目標: 公共交通機関の年間利用者数(仮) など

## 第7章 目標達成のための施策・事業

1. 基幹公共交通軸の方面別施策
- 乗換拠点の検討整備及び結節強化
  - 基幹公共交通の機能強化
  - ゾーンシステムの導入及び導入検討(鉄軌道・バス、バス・バス等)
  - コミュニティ交通の導入促進等
  - 競合路線の改善 など

2. 全体施策
- 運行体制の効率化、一元的なバスサービスの提供
  - 市電及びバスへのロケーションシステム導入
  - 方向幕・系統番号・ラッピングの改善
  - バリアフリー施策(電停改良・ノンステップバスの導入等)
  - 地域間環状線の導入検討
  - 利用促進施策 など